

9 . 長寿命化のための維持管理による効果

予防保全的な維持管理等の実施による効果

- ・従来の対処療法的維持管理から、定期的な点検を実施して市営住宅ストックの状況を把握した上で、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上等を図る改善を実施することで、市営住宅の長寿命化を図りコスト削減につなげる。
- ・定期点検により現状を把握しながら適切な修繕及び改善を実施することで、市営住宅の安全を図る。

事業の実施によるライフサイクルコストの改善効果

- ・長寿命化型改善事業を実施する住棟を対象として、ライフサイクルコスト（LCC）の改善効果を評価する。
- ・団地の改善事業による効果は、使用年数 50 年のところを 70 年に改善されるものと見込む。
- ・以上の算定結果は、LCC 改善効果が 0 以上となっており、整備による改善効果が期待されるものである。